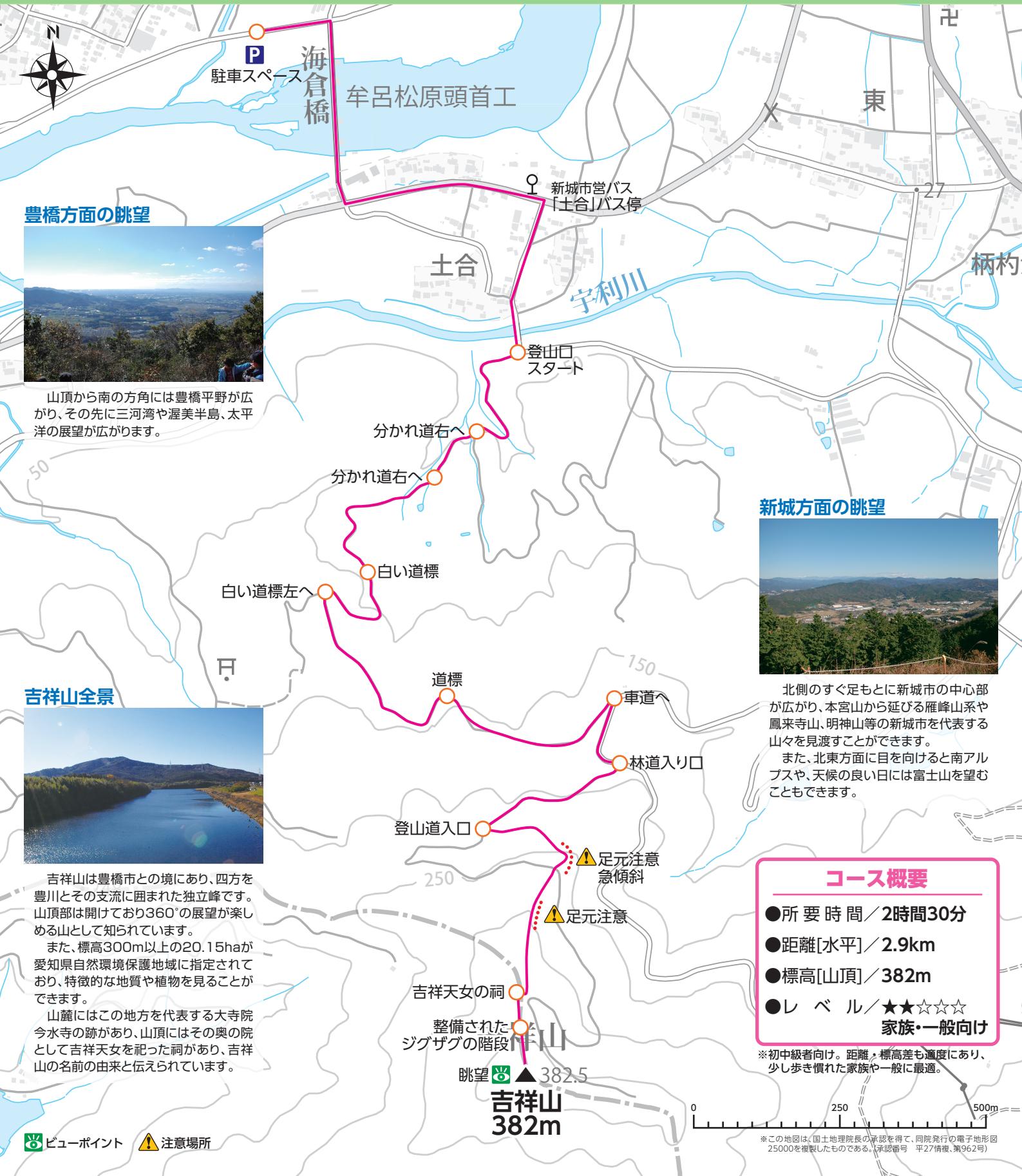


三河湾・奥三河の山々・南アルプスを一望

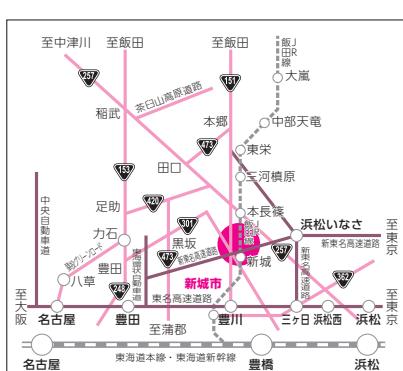
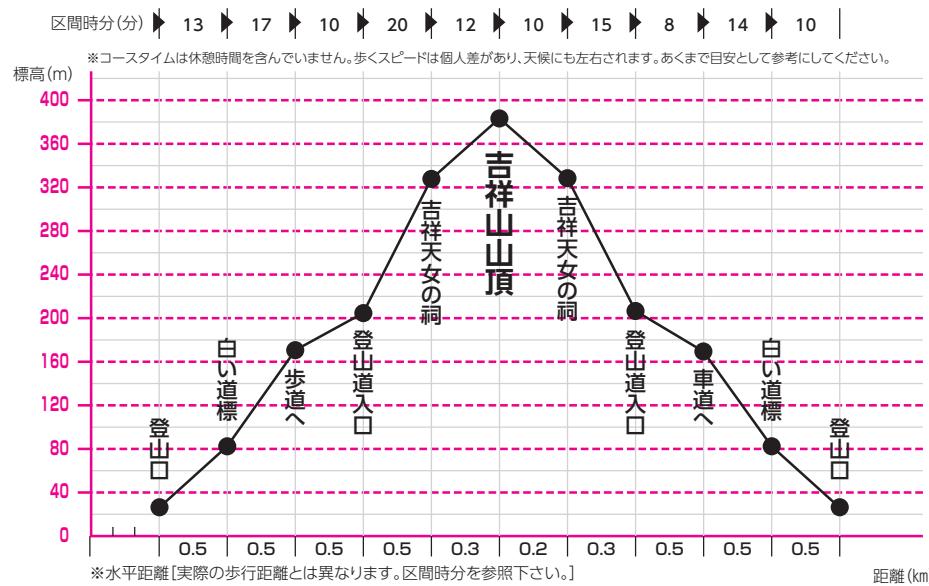
吉祥山よくばり眺望コース

山頂からは大きく展望が開け、三河湾から奥三河の山々、南アルプスの山並みは絶景です。
空気が澄んでいれば、富士山が見られるかも!?



吉祥山よくばり眺望コース

INFORMATION コース情報



吉祥山の麓、豊川に架かる海老川橋の上流で毎年8月に一鍬田天王祭が催されます。この祭りは「かいくら淵」の水面に浮かべ、その舟からいくつも提灯を流して悪霊払いをするもので、美しく華麗なまつりです。開花時期は3月下旬から4月上旬です。

吉祥山の麓、豊川に架かる海老川橋の上流で毎年8月に一鍬田天王祭が催されます。この祭りは「かいくら淵」の水面に浮かべ、その舟からいくつも提灯を流して悪霊払いをするもので、美しく華麗なまつりです。開花時期は3月下旬から4月上旬です。

吉祥桜

樹高20m、幹周約2.91m、樹齢300年以上。吉祥山にはかつて自生の桜が多數ありました。しかし伐採されました。このエドヒガンは、吉祥山のシンボルとして地元の一鍬田村民が守り続けてきました。開花時期は3月下旬から4月上旬です。

今水寺跡（新城市指定史跡）

吉祥山の山麓に今水寺（こんすいじ）の跡が残されています。今水寺は弘法大師によって開山されたと伝えられていますが詳細は不明です。

この寺は鳳来寺と並ぶ大寺院として栄え、真言宗の寺院で本堂に十一面觀音を祀り、その傍らに熊野権現を鎮守しています。

鎌倉時代には源賴朝から寺領を寄進され、戦国時代には今川義元の保護を得て全盛期を迎えたが、野田城の戦いで本堂に十一面觀音を祀り、その傍らに熊野権現を鎮守されています。奥の院として吉祥山山顶に吉祥天が祀られていたとされています。現在は境内に武田軍によつて焼かれたとも言われています。僧坊等があつたと思われる平場が点在しています。

吉祥山周辺の立ち寄りスポット

●桜淵公園

桜と淵を持つ景勝地で江戸時代初期に新城城主が豊川沿いに桜を植えさせたのが始まりと言われています。春の桜、夏の緑、秋の紅葉は素晴らしい年間を通じて楽しむことができる自然豊かな公園です。

●大原調整池

東名高速道路新城PAから見える大原調整池はいくつかある豊川用水の調整池のひとつです。

別名「五葉湖」とも呼ばれており、池の周りには地域住民によって歩道が整備され四季折々の植物を楽しむことができます。

●望月家住宅（国指定重要文化財）

望月家住宅は18世紀頃に豊川流域から天竜川下流にかけて建てられていた一般的な民家です。母屋と釜屋の二棟からなる建築様式は「釜屋建て」と言われ全国的に珍しい、この地域特有のものです。

見学日 土・日・祝日 9:00～17:30

●コースのお問合せ 新城市観光課 Tel.0536-32-1985

その他お問合せ

●新城市観光協会 TEL.0536-32-0022 ●ツジムラタクシー TEL.0536-22-1115 ●カネタタクシー TEL.0536-32-0028
●JR東海テレフォンセンター TEL.050-3772-3910 ●豊鉄バス【新城営業所】 TEL.0536-24-1141

踏査：山野WALK